

## 令和4年度

### 神戸防災技術者の会（K-TEC）第17回総会（第211回定例会）

日時：令和4年6月14日（火）18時15分～

場所：こうべまちづくり会館 2F ホール

総合司会：西 修

#### I. 総会

◇時間 : 18時15分～18時30分

次第 1. 開会

2. 議長選出

3. 議案

第1号議案 役員の選任

第2号議案 令和3年度活動報告

第3号議案 令和3年度決算及び会計監査報告

第4号議案 令和4年度活動計画

第5号議案 令和4年度予算（案）

4. 閉会

#### II. 記念講演

◇時間 : 18時30分～20時00分

##### 演題:「東日本大震災復興 挑戦の10年—国土の復旧から暮らしの再建へ—」

東日本大震災。想定外のことが起きた。千年に1度の大津波、初めて経験する原発過酷事故に日本国政府は試された。暗闇の灯台・前例がないことばかり。復興とは何か、インフラ復旧だけでは戻らない賑わいと暮らしに、「国土の復旧」から「生活の再建」へと政策拡大と哲学の変更が求められた…。

元復興庁事務次官が東日本大震災の復興に挑戦した10年を振り返るとともに見えてきた課題を語る。

##### 講師:岡本 全勝 氏

###### プロフィール

昭和30年 奈良県高市郡高市村生まれ（現・明日香村）

昭和53年 東京大学法学部卒、自治省採用

平成20年 内閣総理大臣秘書官

平成23年 東日本大震災・被災者生活支援本部事務局次長  
（以後9年半にわたり復興に従事）

平成23年 東日本大震災復興対策本部事務局次長

平成24年 復興庁統括官

平成27年 復興庁事務次官

平成28年 内閣官房参与、福島復興再生総局事務局長

令和2年 内閣官房参与、福島復興再生総局事務局長退任。復興庁顧問を経て退任。

令和3年 市町村職員中央研修所学長

#### III. 懇親会

◇時間 : 20時00分～20時50分

講演修了後、講師の岡本全勝氏を囲んで簡単な懇親会を開催します。（会場:3階、会費1,000円）

## 1、報告・連絡事項

### (1)第 212 回 K-TEC 定例会

- ◆日時：令和 4 年 7 月 1 2 日（火） 1 8 : 3 0 ~
  - ◆場所：こうべまちづくり会館 3 階
  - ◆テーマ：(仮) まち歩きガイドのブラッシュアップ作戦
    - ・まち歩きのコース
    - ・説明用写真集、(写真、スマホの活用、他)
    - ・説明の内容 (ネタ集の改善)
    - ・ガイドの増員方法
- 等

### (2)第 19 回「伝承活動をみんなで分かち合うための勉強会」

- ◆日時： 令和 4 年 6 月 2 8 日（火） 1 8 : 3 0 ~
- ◆場所：こうべまちづくり会館 3 階
- ◆テーマ：神戸港の高潮対策について

## 2、伝承活動

### 修学旅行等受け入れの状況(10 月末までの分)

- ・ R4. 9. 9（金） 岐阜県川辺町立川辺中学校 3 年 3 クラス 8 4 名 まち歩き（ガイド 6 名）
- ・ R4. 9. 27（火） 港区立白金の丘中学校 9 年 55 名 まち歩き（ガイド 3 名）
- ・ R4. 10. 24（月） 茨城県立波崎柳川高等学校 77 名 まち歩き（ガイド 4 名）
- ・ R4. 10. 28（金） 沖縄県立開邦中学校 4 クラス 160 名 まち歩き（ガイド 8 名）

## 3、他団体の講演会など

### (1)神戸大学都市安全研究センター オープンゼミナール

- 2022 年 6 月末日（土） 14 時～17 時 （5 月末時点内容未発表）

## 4、今後の定例会

- ・ 第 212 回（ 7 月 12 日 司会 能勢）
- ・ 第 213 回（ 8 月 9 日 司会 青木）
- ・ 第 214 回（ 9 月 13 日 司会 太田）
- ・ 第 215 回（ 10 月 12 日 司会 松岡）

## 令和4年度 神戸防災技術者の会 第17回総会 議案書

### 第1号議案 役員を選任

#### ●役員

##### 【幹事】(再任)

青木利博、太田敏一、西 修、能勢正義、浜 尚美、松岡達郎、松下 眞

##### 【監事】(再任)

松山雅洋、水口和彦

##### 【会計】(再任)

倉橋正己

#### ●その他

##### 【幹事補佐】(再任)

衣川広美、田中亜矢子、田中幸夫、長野恵一、広脇 淳、若松謙一、渡辺一弘

##### 【事務局】(再任)

片瀬範雄、倉橋正己、曾谷はなこ、仲田文人、福田敬正

### 第2号議案 令和3年度活動報告

令和3年度は新型コロナウイルス(以下、「新型コロナ」)感染が拡大し、緊急事態宣言が4/25～6/20、8/20～9/30の期間で兵庫県にも出された。さらに、まん延防止等重点措置も4月、6月～7月、8月、1月～3月の4回出された。

この間、保健師さん(当会の会員にもなっている)など医療関係者の方々は大変過酷な状況の中で保健・医療活動が続いています。あらためて感謝するとともに、体調に留意されることを願っています。

新型コロナにより K-TEC の活動は影響を受け、定例会は2回中止、「伝承活動をみんなで分かち合うための勉強会」は何度も開催自粛を強いられた。伝承活動も神戸市を含む自治体、地域団体、修学旅行等の受け入れ回数が激減した。

#### 1. 定例会の開催

定例会の議題—主な項目は下記のとおり。各月の定例会の活動内容は資料—1。

- 1) 東日本大震災から10年の節目に当たり、振り返りや被災地住民の調査結果について意見交換(3回)
- 2) 新型コロナで開催が少なくなった「伝承活動をみんなで分かち合うための勉強会」を定例会で開催(3回)
- 3) 熱海市の土石流災害を受けた、建設残土や廃棄物処分の問題、災害防止策(1回)
- 4) 阪神・淡路大震災後各地に設置された震災モニュメントマップの紹介(1回)
- 5) 外部講師による新たな角度からの勉強～防災教育、防災と福祉、六甲山系の治山事業(3回)

なお、令和2年12月の第196回定例会からはZOOMによるオンライン参加も可能になっている。

#### 2. 「伝承活動をみんなで分かち合うための勉強会」の開催

会員誰もが伝承活動ができるように、阪神・淡路大震災、水害の勉強をテーマごとに行っている。

その詳細は資料—2。

#### 3. 伝承活動

伝承等活動の詳細は資料—3に記載したとおり、12団体等からの依頼を受け、延28回、約1,392人に対して実施(修学旅行生、大学、市内小学生対象の神戸っ子おにぎりプログラム(平成元年度開始)を含む)。

主な事項は下記の通り

##### 1) 修学旅行生などの誘致と伝承活動

((一財)神戸観光局、(一財)神戸すまいまちづくり公社と共同で)

- ・小・中学、高校、大学の9団体に対し震災遺構まち歩きガイド、クロスロード、語り部の実施
- ・第6回全国被災地語り部国際シンポジウムで参加者を対象に震災遺構まち歩きを実施

## 2) 市民公開セミナー

- ・神戸防災のつどい2022でセミナーを開催

テーマ 「多様な災害への対応」～我が街のハザードマップを知ろう～

- ① 神戸市における過去の災害 (片瀬 範雄)
- ② ハザードマップの概要 (能勢 正義)
- ③ 我が街の地形とハザードマップの見方 (太田 敏一)
- ④ 「ハザードマップの生かし方」についてフロア意見交換 (進行・西 修)

参加者一約46名 (会場参加25名、ZOOM参加21名)

## 3) 自治体、各種団体への伝承活動

### ①新規採用職員研修 (eラーニング)

- ・阪神・淡路大震災を振り返って、伝えたいこと(動画) 川田 誉史子(こうべ市民福祉振興協会)
- ・震災聞き書き～イントラネットにアップされている過去の震災聞き書きを閲読

### ②係長昇任5年次研修 (eラーニング)

- ・令和2年7月豪雨に伴う熊本県八代市被災地派遣(動画) 谷 敏行(危機管理室)
- ・阪神・淡路大震災を振り返って、伝えたいこと(動画) 川田 誉史子(こうべ市民福祉振興協会)

### ③神戸市消防局「BOKOMI サポーター」の認証団体の継続

## 4) 大学関係

①神戸学院大学 「阪神・淡路大震災研究」 (平成18年度より講義)

②神戸流通科学大学 「地域防災論」 (平成25年度より講義)

## 5) K-TEC 内での自主研修

- ①ZOOM研究会～定例会、セミナーで活用。

## 4. 各種団体との連携

「NPO法人都市災害に備える技術者の会」や「神戸クロスロード研究会」と共同で伝承活動を実施

## 5. 定例会の開催が200回を超える

2004年7月の第1回から数えて200回目を2021年6月に迎えた。これを記念して、K-TECの発足のいきさつ、助走期間、震災体験の伝承活動、自然災害の被災地支援、他団体とのコラボ、今後の会の目指す方向等をまとめた『よくぞ続いたK-TEC定例会「200回」、さらに「300回」を目指して』を会の発足時から活動している片瀬氏がまとめた。K-TECホームページの会員専用ページに掲載している

## 6. その他

### 1) ホームページについて

ホームページURL <http://www.k-tec117.org>

会員専用ページのユーザー名とパスワードは事務局 ([jimukyoku@k-tec117.sakura.ne.jp](mailto:jimukyoku@k-tec117.sakura.ne.jp)) に直接問い合わせしてください。

- ① 修学旅行生対応や各種団体への伝承活動をホームページにアップ
- ② ホームページの拡充が会員により実施されつつある

## 第3号議案 令和3年度決算及び会計監査報告

- ・令和3年度決算 資料-4
- ・令和3年度会計監査報告 資料-5

## 第4号議案 令和4年度活動計画

### 1. 定例会の開催

- ・毎月第2火曜日 18時15分～20時50分（こうべまちづくり会館体制縮小のため、延長は控える）
- ・定例会のテーマは幹事・監事補佐会で意見をまとめていく。
- ・東日本大震災被災地関連やその他災害発生地などの情報の共有、発信、支援など
- ・定例会 200 回超を記念して、岡本全勝氏（元復興庁事務次官）を招き、総会後の講演会を開催する

## 2. 「伝承活動をみんなで分かち合うための勉強会」

毎月第4火曜日に開催。テーマごとに関係者の資料作成をお願いする。

## 3. 伝承活動

### 1) 神戸市職員研修

- ①新規採用職員研修、 ②係長昇任5年次研修 共に詳細はまだ示されていない
- ③一般職員研修（検討事項）
  - ・職員研修の参加について、職員研修所や危機管理室と意見交換する

### 2) 修学旅行生等への伝承活動の拡充

～阪神・淡路大震災の記憶を未来の防災へ～ 「神戸で学ぶ防災学習」

- ①神戸観光局、人と防災未来センター、ふたば学舎など修学旅行生受け入れ連絡会と協働して実施
- ②会員が何時でも誰でもガイドが出来るよう伝承内容や案内資料などの充実を図る
- ③今年10月にHAT神戸で開催予定の“ぼうさいこくたい”への参画を関連団体と共に検討する。

### 3) 講師の派遣

危機管理室や交流団体、地域団体、自治体、小・中学校などからの要請に応え、会員を講師として派遣する

K-TEC 内部研修会の実施（「伝承活動をみんなで分かち合うための勉強会」）

### 4) 講演資料の保存と活用

講演内容や資料について集積、保存を行い、会員相互の情報源となるよう整備する

### 5) ホームページの活用と発信

ホームページのブログ欄を活用し、各地の地域活動を発信し、減災活動の範囲拡大に努める

### 6) その他

神戸学院大学の「阪神・淡路大震災研究」、神戸流通科学大学の「地域防災論」でK-TECの会員も講師を務めている。

## 4. 東日本大震災など被災自治体支援のあり方の検討

新型コロナで活動が制限される中、被災自治体や被災者（特に原発事故被災地）などとの交流のあり方について検討する

## 5. 他団体との連携強化

防災・減災活動団体との連携を深め、講習会の開催情報の発信・データ類の共有などを図り、会員のスキルアップ体制を強化する

## 6. 図書の発行

- ・調査報告書など活動記録の発行

## 7. 講演記録の保存

- ・会員が各種研修会でいった講演内容の記録を保存する
- ・ホームページへの活動内容のブログ投稿を通じて、活動内容の発信に努める

## 第5号議案 令和4年度予算（案）

- ・令和4年度予算（案） 資料－6

## 資料一1 【第2号議案関係】

## 令和3年度 神戸防災技術者の会 (K-TEC) 定例会 記録

回数	月・日	活動内容
第199回	4月13日	東日本大震災から10年を振り返る ～被災地の生活再建、街の復興 現状と課題を皆で語る～【前半】
	5月	新型コロナ緊急事態宣言発出中 (4月25日～6月20日) につき、活動自粛
第200回	6月22日	総会、記念講演 「防災教育を通して災害と向き合う」 講師 清二氏 防災学習アドバイザー・コラボレーター 兵庫県立大学 (大学院減災復興政策研究科) 特任教授
第201回	7月13日	東日本大震災から10年を振り返る ～被災地の生活再建、街の復興 現状と課題を皆で語る～【後半】
第202回	8月10日	令和3年7月3日の熱海土石流に関連して (1) 「熱海伊豆山の土石流を見える化して考える」 太田 敏一 (2) 宅地造成工事や残土処分等に対する行政の許可、指導の在り方 松岡達郎、久保田裕二、片瀬範雄
	9月	新型コロナ緊急事態宣言発出中 (8月20日～9月30日) につき、活動自粛
第203回	10月12日	1、阪神・淡路大震災「震災モニメントマップ」について 石井 修 2、第9回「伝承活動をみんなで分かち合うための勉強会」 片瀬 範雄 テーマ：インフラの被災状況と復旧と災害対応改善(2) (新交通システムの復旧について)
第204回	11月10日	定例会 兼 第11回「伝承活動をみんなで分かち合うための勉強会」 片瀬 範雄、水口 和彦 テーマ：インフラの被災状況と復旧と災害対応改善(3) (鉄道の被災と災害復旧、神戸市営地下鉄の被害と災害復旧)
第205回	12月14日	「防災と福祉の連携～平成30年7月豪雨の事例より」 阪本 真由美氏 兵庫県立大学減災復興政策研究科 教授
第206回	1月11日	定例会 兼 第13回伝承勉強会「水道の復旧・復興(後半)」&「海外におけるインフラの地震対策」 松下 真 (神戸市水道サービス公社、K-TEC 幹事)
第207回	2月8日	「東日本大震災復興十年の被災地における住民の生活復興意識調査」の報告と意見交換 神戸大学とオンライン会議方式で 本庄雄一氏から調査結果(データ)の概要報告をもとに意見交換
第208回	3月8日	「六甲山系における治山事業の歩み」 山田裕司氏 元兵庫県六甲治山事務所所長

回	開催日	テーマ	詳細
第8回	2021.7.27	インフラ復旧① (道路【前半】)	<p>1. インフラ全体の被災状況</p> <p>2. 神戸市道路管理者の動き(地域防災計画の位置づけ・緊急輸送道路指定)</p> <p>3. 道路関係の被災状況 4. 橋梁などの被災原因の推定 5. 橋梁の被災箇所別の被災状況</p> <p>6. 被災橋脚遺構の展示 7. 道路の復旧時期と直後の応急対応 8. 橋梁の耐震復旧仕様(耐震性能)</p> <p>1. 新交通の誕生 2. 駅舎や走行面の被災状況 3. 建設時体制と阪神・淡路大震災発生時の組織</p> <p>4. 関係機関の支援 5. 各団体・自治体からの支援 6. 被災概要と被災額(H7.3末)</p> <p>7. 復旧日途の発表 8. 開通時期(鉄道関係のしんがり開通と挪輸されたが) 9. 代替え輸送</p> <p>10「おまけ」一鉄軌道の震災復旧のしんがりは「摩耶ビューライン」</p>
第9回	2021.10.12	インフラ復旧② (新交通システム)	<p>9. 神戸市道路管理者の復旧・復興にあたっての方針と考慮した点</p> <p>10. 神戸市管理道路の復旧(災害復旧事業査定・原単位方式の採用など)</p> <p>11. 道路における復興事業や関連事業の導入(国道28号・県道東灘芦屋線などCCBOX・プロムナード・障がい者対応など) 12. 鉄道事業者への協力 13. 市民生活への支援(家屋撤去・法面復旧、私道支援など) 14. 震災後、計画が凍結されたビッグプロジェクト</p>
第10回	2021.10.26	インフラ復旧③ (道路【後半】)	<p>1. 鉄道の復旧(山陽新幹線、JR、神戸高速鉄道、阪急・阪神、山陽・神鉄) 2 復旧仕様、方法</p> <p>3, 運転再開状況 4. 代替輸送 5. 財政支援</p> <p>6, 地下鉄の被害、出来事 7. 応急復旧 8, 復旧検討委員会と運転再開スケジュール</p> <p>9. 本復旧 10. 高架橋の復旧 11. 設備の被災 12. 建築関連の被害 13. 運行再開</p> <p>14. 復旧で困ったこと 15. 震災の教訓</p>
第11回	2021.11.9	インフラ復旧④ (鉄道の被害と災害復旧)	<p>1. 民間運営のライフラインの被災と復旧、耐震策の概要(①電気 ②電話 ③ガス)</p> <p>2. 水道の被災と復旧、災害時対応強化策など復興について</p> <p>①水道被害の概要 ②六甲山中の水道トンネル ③水道の復旧時期 ④水道の復興計画</p> <p>⑤復旧工事における工法や材料の新規導入</p>
第12回	2021.11.30	インフラ復旧⑤ (民間運営のライフライン、水道の復旧【前半】)	

第13回	2022.1.11	インフラ復旧⑥ (水道の復旧【後半】& 海外におけるインフラの地震 対策)	<p>1. 水道の被災と復旧、災害時対応強化策など復興について</p> <p>⑥復旧工事時の契約・他の自治体の支援 ⑦復旧工事中の出来事 ⑧応急復旧での課題や今後のための資材準備など ⑨大地下深度法活用の送水トンネルの発想と事業中の課題など</p> <p>⑩被災から学んだ教訓</p> <p>2. ①アメリカの水源地震対策 ②サンフランシスコの消防専用水道 ③ニュージーランドのカンタベリ一地震 ④中国の四川地震</p>
第14回	2022.1.25	インフラ復旧⑦ (下水道の被害と復旧)	<p>1. 地震発生直後の下水道局の体制 2. 下水道関係 復旧事業費や査定制度改善</p> <p>3. 処理施設(被災状況・緊急対応・復旧工事) 4. 下水道管渠(被災状況・修理件数)</p> <p>5. 大都市の支援(被災状況調査) 6. 汚水枝線の被災状況 7. 排水設備修理件数の推移と復旧事例</p> <p>8. 雨水幹線の被災状況と復旧事例 9. 仮設トイレ 10. 震災後の反省と教訓</p> <p>11. 神戸市下水道ネットワークシステム</p>
第15回	2022.2.22	阪神淡路大震災と公園緑地 (グリーンベルト含む)	<p>1. 総論(参考)公園の被災状況 2. 災害に使用した公園(瓦礫置き場、体育館など)</p> <p>3. 防火水槽と耐震性貯水槽 4. 震災後の大規模プロジェクト</p> <p>5. 震災復興の公園整備(参考)六甲道北公園 6. グリーンベルトについて (番外)王子公園と若松公園</p>
第16回	2022.3.22	宅地の被災・土砂災害の状況・ 以降の施策など	<p>1. 宅地造成等規制法(宅造法)の概要 2. 阪神・淡路大震災発生後の状況(①被災の状況・被災後の取り組み・被災事例・どんな業務が拡大したか・特例措置・出来なかったこと)</p> <p>3. 阪神・淡路大震災以後の取り組み(①阪神・淡路大震災以後の宅地や土砂災害災害の状況、②行政が行った施策・宅造法改正(時期・内容)・宅地の診断基準の明確化・市内の調査状況・豪雨災害地支援について)</p>



資料-3 【第2号議案関係】 令和3年度 自治体・各種団体・大学等への伝承活動

月・日	研 修 名	対 象 者	受講者概数	場所又は内容	派 遣 者
前期授業	神戸学院大学 阪神・淡路大震災研究 13回	神戸学院大 現代社会学部学生	延520名	神戸学院大学	松山、青木、松下、 宮崎、
10～12月	神戸流通科学大学（大学連携）「地域防災論」5回	流通科学大総合政策部学生	延200名	神戸流通科学大学	中山徹、栗田、
9月6日	杉並区立大宮中学校 出前講座	杉並区立大宮中学校	68名	杉並区立大宮中学校	片瀬
10月18日	成徳小学校 社会科（わが町を知る）	成徳小学校6年生	160名	成徳小学校	倉橋
10月25日	葛飾区立綾瀬中学校	葛飾区立綾瀬中学校3年生	81名	まち歩き	松岡、松下、片瀬
11月3日	北海道砂川高等学校	北海道砂川高等学校2年生	64名	まち歩き	青木、片瀬、田中亜、 水口
11月12日	千葉県立検見川高等学校	検見川高等学校2年生	120名	座学、まち歩き	太田、青木、石井、笹 原、仲田、松岡、松下
11月19日	千葉県秀明八千代中学校	秀明八千代中学校3年生	30名	まち歩き	石井、橋上
11月23日	大阪市立大学 大西ゼミ（阪神・淡路大震災復興まちづくり）	大学ゼミ生他	18名	座学＋まち歩き	片瀬、倉橋
12月11日	第6回全国被災地語り部国際シンポジウム	シンポジウム参加者	30名	まち歩き	片瀬、倉橋
1月14日	垂水区西脇小学校（神戸っ子おにぎりプログラム）2回	5年生	55名	西脇小学校	橋本
1月16日	神戸防災のつどい2022でセミナー開催 「多様な災害への対応 ～我が街のハザードマップを知ろう～」	一般市民 （会場参加,200M参加）	46名	神戸国際会館セミ ナーハウス802,803	西、片瀬、能勢、 太田、
	<b>計 28回、 約1,392人</b>	新型コロナウイルスによる活動自粛、キャンセルで、伝承活動は極端に減少した。			